委員会名：　国際交流委員会

委員長名：　久保義弘

委員名簿（2024年1月現在）： 　　 岡村康司、〇久保義弘、酒井秀紀、樽野陽幸、

西田基宏、西谷友重、西村幸男、渡部文子

**報告書作成日** 2024年1月28日

**報告事項**

[1] FAOPS2023 Congressへの日本生理学会企画シンポジウム（簡略に再掲）

FAOPS2023が、2023年11月1-4日にDague (Korea) にてオンサイト開催された。FAOPS2023からの、各国生理学会特別枠シンポジウムの提案依頼を受けて、国際交流委員会で協議してPSJから提案した下記2題が実施された。旅費サポートは、1シンポジウムあたり1,500 USDと限定的であった。

(1) 各国PS特別枠の、PSJ 提案シンポジウム1

タイトル： **A new vista of physiological mechanisms of chronic pain**

オーガナイザー： Fusao Kato (Japan), Seog Bae Oh (Korea)

(2) 各国PS特別枠の、PSJ 提案シンポジウム2

タイトル： **Physiological functions of glial cell for brain functions**

オーガナイザー： Hiroaki Wake (Japan), Justin Lee (Korea)

[2] オーストラリア生理学会大会におけるPSJからの招待講演者の派遣（簡略に再掲）

オーストラリア生理学会 (AuPS) から、AuPS大会（2023年11月26日- 29日、メルボルン）での「筋とCa2+シグナル」に焦点をあてたシンポジウムに、日本から2人の講演者を招待したいとの連絡をいただき、派遣者について国際交流委員会で協議した。

Dr. Toshiko Yamazawa （慈恵会医科大学）　(Skeletal muscle, RyR1, malignant hyperthermia)

Dr. Nagomi Kurebayashi （順天堂大医）　(Cardiac muscle, RyR2, arrhythmia)

を派遣し、シンポジウムおよび大会は成功裡に開催された。

なお、AuPSからの旅費のサポートは、各々1,250 オーストラリアドルと限定的であった。

[3] 第101回PSJ大会 (2024年3月) における国際交流委員会企画シンポジウム（簡略に再掲）

2024年3月の第101回大会において、国際交流委員会企画シンポジウムの枠を3ついただき、下記3題を実施することとなった。海外講演者の招聘旅費として、第99回大会時と同程度の、近隣枠（上限15万円）2件、遠方枠（上限25万円）1件、総計55万円を、2024年度のPSJの予算に計上していただいている。

1. シンポジウム1

タイトル： **Cutting-edge research of transporters and pumps:**

**Structure, function and physiological significance**

オーガナイザー： 酒井秀紀（富山大学 薬学部）

服部素之（復旦大学 生命科学学院）

講演者: 藤井 拓人（富山大学 学術研究部薬学系 薬物生理学）

阿部 一啓（名古屋大学 細胞生理学研究センター）

Dr. Pattama Wiriyasermkul（東京慈恵会医科大学 臨床検査医学講座）

服部 素之（復旦大学 生命科学学院）

1. シンポジウム2 (2S05m)

タイトル： **Secret lives of membrane lipids in physiology**

オーガナイザー：　 岡村康司（大阪大学）

Vincent Jacquemond （リヨン大学）

講演者： Vincent Jacquemond （Université de Lyon、フランス）

中川敦史 （大阪大学蛋白質研究所）

河嵜麻実（新潟大学大学院医歯学総合研究科分子細胞機能学分野）

冨田太一郎　（東邦大学医学部生理学講座統合生理学分野）

1. シンポジウム3

タイトル： **Old players take on new roles: various Ca2+ signaling regulators provide**

**novel mechanisms in cardiac metabolism and disease**

オーガナイザー：　 西谷（中村）友重（和歌山県立医科大学医学部）

Jin Han（College of Medicine, Inje University、韓国）

講演者： Jin Han（College of Medicine, Inje University、韓国）

Sun-Hee Woo（College of Pharmacy, Chungnam National University、韓国）

西田 基宏（九州大学大学院、自然科学研究機構　生理学研究所）

西谷（中村）友重（和歌山県立医科大学医学部）

[4] 第102回PSJ大会 (2025年3月) における国際交流委員会企画シンポジウム

2025年3月の第102回大会（解剖・薬理・生理合同）においても、国際交流委員会企画シンポジウムを3件企画したいと考え、生理学会サイドのプログラム委員長の日比野浩先生と相談を進めている。今後の相談で、解剖学会、薬理学会との合同での国際交流企画の立案を求められた場合は対応を検討するが、今のところ、生理学会単独で企画する予定である。

**2024年事業計画**

既に内諾をいただいている通り、2024年3月の第101回大会における国際交流委員会企画シンポジウム3件の、海外講演者の招聘旅費として、近隣枠（上限15万円）2件、遠方枠（上限25万円）1件、総計55万円を計上していただいている。

**2025年事業計画**

2025年3月の第102回大会における国際交流委員会企画シンポジウム3件の、海外講演者の招聘旅費としては、これまでと同程度の、近隣枠（上限15万円）2件、遠方枠（上限25万円）1件、総計55万円を計上していただくことを希望する。

**理事会への提案 （議事として諮りたいことをお書き下さい）**

無し